

山の手だより

No
34



世界デュシェンヌ啓発の日
World Duchenne Awareness Day (WDAD)



TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください

34号目次

ごあいさつ 事務部長 曾我 理	2P
第1回 西館夏まつり ～待ちに待った暑い夏～	3P
北海道マラソンの救護班に参加して 専攻医 西谷 高広	4P
小児慢性特定疾病・在宅・移行期医療支援センター 小児科医長 田中 藤樹	5P
医療クオリティマネジメント室のご紹介 外科系診療部長 川村 秀樹	6P
コロナ禍の今こそ検診を受けましょう	
内科系診療部長 検診センター長 消化器内科医長 清水 勇一	7P
YouTube チャンネル登録お願いします!!	8P

まいにちから、
まんいちまで。

4月に前任地函館より事務部長として着任しました曾我 理(そが まさる)と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、病院の事務部長として病院運営に携わっている一方で、社会保険労務士として快適な職場環境の形成を行っています。

社会保険労務士は、労働基準法や労災保険法などの労働関係法令や国民年金法や厚生年金保険法などの社会保障関係法令の取り扱いを専門とする資格であり、いわゆる労務管理における分野の専門職です。職員が安心して働きやすい職場環境を整えること、職員一人一人がそれぞれ自分の持っているスキルを最大限発揮しうるように環境条件を整えること、などを推進していく活動をしています。

当院における主な活動内容をご紹介しますと、一つ目は、医療従事者の働き方改革やハラスメント防止対策、ワーク・ライフ・バランスの実現などに関する研修会の講師を行っています。働きやすい職場環境を形成するためには、職員全員が正しい知識を身につけ病院の理念に向かって同じ方向へ進んでいくことが大切だという信念のもとに、当院に着任してから現在まで、職員研修会を延べ18回開催しています。

もう一つは、医療従事者のスキルアップのための支援です。医療従事者などの専門職の職場は自己実現の場であり、自分が働くことによって、自分自身の生活を確固たるものにするだけでなく、愛する家族のため、病院のため、ひいては地域の医療のために、一人一人の持てる力を最大限に発揮することができる場所でなければなりません。誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすためにスキルを磨くことは必須であり、そのためには職員の誰もがいつでも自己研鑽を行うことができる環境が整備されていることが大切です。

当院の職員が明るく元気に働き、一人一人が自己のスキルをアップすること、周囲が支え合い、いきいきと働き続けることができる職場であることが地域の皆さんに信頼され、安心・安全な医療を提供することに繋がっていくと思っています。

事務部長であり社会保険労務士であるという立場から、自分の持っている法的知識の全てを職員に還元し、医師・看護師等医療従事者の支えとなり、地域医療に貢献できるよう努力していきますので、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



医療従事者を対象にハラスメント研修を行っている様子

第1回 西館夏まつり ～待ちに待った暑い夏～

北海道医療センターに移転し、早2年が経過しました。現在でもcovid-19が猛威を振るい、当院では北海道、札幌市からの要請のもと、感染患者の受け入れ、対応に邁進しています。

その中で、西館の患者様の行事、療育活動も適切な感染対策を行いながら、規模の縮小、より個別的に取り組んできました。今年度に入り、ようやく西館全体での「夏まつり」を開催することが出来ました。療育指導室が中心となり、各スタッフと協力しながら無事、3つの病棟が「夏」を感じることが出来たと思います。

今回の行事を皮切りに、全体での行事をこれからも計画していきます。

西2・3病棟

西3
くじ引き
何があたるかな



西2
かなりの人数が
参加しました☆



西3 ベットで綿飴♪



西3 射的で景品ゲット



西2
リハビリの先生に
作ってもらいました

西4病棟

みんなでかき氷♪
おいしい～



射的
ベットサイドから狙い撃ち



ねぶた鑑賞
夏を感じています



全員で作った
金魚ねぶた



水鉄砲でヨーヨー撃ち♪

西2・3病棟では患者様が3Dプリンターを使用し、自らがレイアウトを考え、創作した作品の出展です。

西4病棟では、日常の療育活動から「四季」を感じることが出来るよう取り組んでおり、その中から数多くの作品を出展しました。皆さんのこれまでの作品をご覧ください！

～第1回 西館夏まつり 作品展示会～



西2・3 3Dプリンター作品



西4「四季」を感じる制作

北海道マラソンの救護班に参加して

専攻医 西谷 高広

2022年8月28日、3年ぶりに北海道マラソンが開催されました。日本では夏に行われる唯一のフルマラソンです。東京五輪のマラソン・競歩競技の開催に伴い休止となっていましたが、東京五輪の遺産を生かそうと東京五輪でのコースも一部取り入れた形での開催となりました。参加者も過去最多の2万人、制限タイムも5時間から6時間へと延長し、全国各地から大勢の参加者が集まりました。大通公園をスタートし、札幌市内を南北に駆け抜け、ラストスパートは北海道大学キャンパス内を通る従来とは異なるコースとなりました。男子はルカ・ムセンビ選手、女子は山口遥選手の優勝で幕を閉じました。当院(北海道医療センター)からは、医師、看護師、理学療法士の4名が救護班の一員として参加しました。北海道内様々な医療機関からの医療スタッフ・救命士・学生等が集い、医療体制を整えました。

ランナー達が完走するため、そして1秒2秒のタイムを縮めようと懸命に走る中、私たちはランナー達の安全を担うため待機しています。マラソンにはケガ・脱水症状などがつきもので、特に夏の開催であるため、熱中症の発生が危惧されました。今回の北海道マラソンの新規の取り組みとしては、アイスバス(氷水浴)を用意しました。40度を超える高体温、意識障害など重度の熱中症と判断される場合には、使用を検討します。39度までの冷却が得られたタイミングでアイスタオルでの冷却に移行します。実際に東京マラソンでは使用されており、25km地点・フィニッシュ地点に設置しておりました。幸い、同日の最高気温は26度、天候にも恵まれ、使用するケースはありませんでしたが、ランナーの救護体制強化を図るべく新規の取り組みが模索されています。全体としては、救護所に運ばれた、また救急車が出動したケースは一定数いましたが、重症者は出ずに終えることができました。途中棄権となったランナーは救護側としても完走してほしい気持ちがありました。また来年再チャレンジしていただきたいです。

新型コロナウイルス感染症の拡大のため、参加を断念した、練習量が制限されたランナーも多数いたようです。北海道マラソンは道内を「熱く」する一大イベントです。感染症の収束を祈るばかりです。開催に際しては、皆様の安全を担うべく今後も一役を果たして参ります。



マラソンスタート地点



救護テント内の様子



左 理学療法士/渡邊亮 看護師/大谷明日香
看護師/渡辺萌 医師/西谷高広

小児慢性特定疾病・在宅・移行期医療支援センター開設

小児慢性特定疾病・在宅・移行期医療支援センター長 小児科医長 田中 藤樹

2022年1月より小児慢性特定疾病・在宅・移行期医療支援センターが開設され、センター長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。聞き慣れない3つの組み合わせの名称であり、それぞれの結びつきも想像しづらいことと思います。センター開設の動機は移行期医療と呼ばれる小児から成人への医療・ケアの切り替えを支援していくことであり、米国ではhealth care transitionと呼んでいます。近年の医療の進歩によりわが国では小児疾患の生命予後が大幅に改善され、成人に移行する患者が増加しています。そこで小児科から成人診療科への転科が必要になってきますが、単純に転科するだけではなくそこに至るまでの小児患者に対するヘルスリテラシーの獲得や自律支援、ケア支援などを行い、親の保護から自立していくことを目標とします。そのために医師、看護師、心理士、栄養士、薬剤師、MSWなど移行期医療に関わる多職種で包括的に支援していく必要があります。



小児が成人になるにつれて小児科医としては患者の自律性を獲得するように早くから心理支援をしていく必要があります。ですが、これまで小児期から自律性を促すように支援しておらず、極端には親の保護があればそれに頼り切りとしてきたケースが多かったと思われます。これからは長期的視野に立って小児期から患者自身の自律性を目指して、小児科医、心理士などを中心にヘルスリテラシーを高めていくことが求められます。また、既に成人年齢に達しているにも関わらず小児科のみの単科診療となっている方は、これから移行期医療へと進んでいくのですが、その場合には小児科単独の包括的診療から各内科へ基礎疾患や合併症に合わせて振り分けることが求められ、各科の診療バランスを調整する必要があります。また、これまで小児科のみに通院することで定期フォローと急性期対応となっていました。今後は感冒など一次医療を行うかかりつけ医や在宅医療、訪問看護、訪問リハビリなどへの移行も検討していく必要があります。その際には体調増悪時の後方支援病院・担当科なども決めておかななくてはなりません。また、小児慢性特定疾病から指定難病へ制度の移行についてもMSWと考える必要があります。加えて、小児科医療から移行期医療への大きな変化に対して患者である小児の不安に対してもケアしていく必要があります。

北海道内全域における患者や医療機関に対して移行期医療を支援していく拠点センターの位置づけと同時に、院内においても移行期医療について相談・指導など支援を中心とした役割を担っていきます。院内での移行調整、院外からの移行紹介などコーディネーターが必要な際に介入していきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

医療クオリティマネジメント室のご紹介

医療クオリティマネジメント室長 外科系診療部長 川村 秀樹

当院では今年度、新たに医療クオリティマネジメント室が設置されました。

従来、製造業などを中心に行われてきた質改善の取り組みは、近年医療においても重要視されるようになり、これからは病院運営の柱の一つとなっていく可能性があります。広義には医療クオリティマネジメントには継続的な診療および経営の質の向上を目指すさまざまな業務が含まれますが、一般的には次のような活動が行われています。まず、医療および経営の質の視点から様々な事項に関して調査を行い、エビデンスをもとに問題点を明らかにし、その原因分析を行う。次に、抽出された問題点は関係する各部門と協力し改善策を立案する。そして改善策の実施後は定期的な評価を行い各部門と連携して継続的に改善を図る、となります。これらの活動を行っていくには医療の質を全国的なデータと相対的に評価する必要があり、臨床指標(クリニカル・クオリティ・インディケータ)というものが一般的に利用されています。



当室ではまずは以下の臨床指標を中心に情報を収集して、組織横断的な改善活動につなげていく予定です。

臨床指標

- ・ 褥瘡発生率
- ・ デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者に対する心エコーあるいは心筋シンチグラフィ実施率
- ・ 紹介率・逆紹介率
- ・ 30日以内の予定外再入院率
- ・ 1カ月間・100床あたりのインシデント・アクシデント発生率
- ・ 術後抗生剤の適正使用
- ・ 救急車・ホットラインの応需率
- ・ 誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコピーあるいは嚥下造影検査の実施率
- ・ 脳卒中患者のうち入院2日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法を受けた患者の割合
- ・ 患者満足度



新設された部門でありますので手探りのスタートとなりますが、医療クオリティマネジメント室に所属する医師、看護師、診療看護師、薬剤師、事務職員、診療情報管理士が協力して、一步步病院の質の改善をすすめていきたいと考えております。

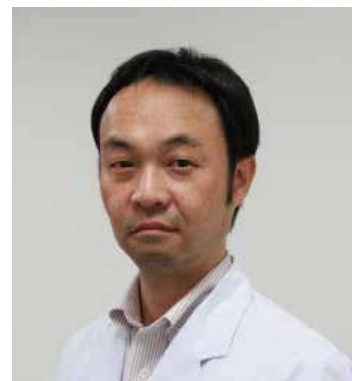


クオリティマネジメント室員バッジ

コロナ禍の今こそ検診を受けましょう

検診センター長 内科系診療部長 清水 勇一

私たちが健康な生活をおくるためには、病気に先手を打って予防する、もしくは早期に発見して的確に治癒することが最大の秘訣です。時代の流れとともに我々を取り巻く生活環境は大きく変化し、不規則な食生活や運動不足、睡眠不足、喫煙、飲酒、ストレスなどにより、生活習慣病やメタボリックシンドロームなどを抱える人が年々増加しております。



当院では従来、各科で行っていた検診を集約し、検診センターとして行うことに機構改革し、がん検診(胃、大腸、肺、乳腺、子宮、前立腺)、脳ドックにより、疾病の早期発見・早期治療に努めてきました。当院における先進の医療技術・医療設備を駆使して、予防から高度医療まで、皆様の健康づくりにお役立ちしたいと思っております。

病気を「治療する」から「予防する」時代へと変わっていくなかで、当院の検診をご活用いただき、ご自身の健康管理、健康増進に役立ていただければ幸いです。

現在、新型コロナウイルスの流行により、がん検診の受診率が減少しております。

がん検診は「不要不急の外出」には該当しません。がんは早期に発見できれば治る可能性が高く、がん検診では多くの早期がんが見つかっています。あなたの健康を守るために、がん検診を受けましょう。

当院では、「市民向けがん講座」を公開しており、がん検診の受診控えでどれだけがんの診断が減っているか、新型コロナ流行下においてがん検診をどうするべきか等を動画で情報を配信しております。ぜひ一度ご覧ください。

人間ドック 半日コース 27,000 円(税込み)

法定健診 心電図 胃カメラ 腹部エコー

1日3名様限定の半日ドック(火曜日)
アテンダントが受診者様をご案内し、
きめ細やかなサービスでご対応いたします。



当院の人間ドックは、鎮静剤の使用や経鼻内視鏡で胃カメラが行えますので、苦痛少なく検査ができます。ワンフロアで全ての検査が完了!

検査当日、医師による結果説明を実施。お支払いにクレジットカードやデビットカードも利用可能。

気になる部分をチェック

- ◆低線量肺がんCT・腹部セット検診 19,760円(税込)
- ◆脳ドック 21,600円(税込)
- ◆前立腺がん検診 2,160円(税込)
- ◆子宮がん検診 3,240円(税込)
- ◆乳がん検診 50歳未満 5,710円(税込)～
50歳以上 5,400円(税込)～

- 検診日: 予約制
- 予約方法: 受付窓口③④での健診受付
- 電話受付 平日13:00～16:00

☎011-611-8111 に

「●●健診の予約をしたい」とお伝えください。

予約について



他にもあるのでホームページをぜひチェックしてください

YouTube チャンネル登録 お願いします!!



継続的に情報を手元に届ける方法として、YouTube動画配信に切り替えてお届けしています。

以前よりもSNSフォロワーの数が増え、コメントも多くいただくようになりました。視聴回数などリアルタイムで知ることができ、制作の励みになっています。

パーキンソン病とライフスタイル

パーキンソン病発症と関連?

- 地中海食
- コーヒー
- 乳製品・肉
- 尿酸
- 喫煙

Deleiden P, et al., 2014

パーキンソン病のおはなし
【サロン・ド・PD】第8回
パーキンソン病と栄養・何を食べてらいいの?

再生回数 18,595回

市民向け健康講座

誰でもわかる慢性腎臓病講座
～食べ物と薬の話～

誰でもわかる慢性腎臓病講座
～食べ物と薬の話～

誰でもわかる
慢性腎臓病講座
～食べ物と薬の話～

再生回数 4,907回

オンラインサロン【zoom】
がん患者サロンホレ・ホレ

抗がん剤治療中の日常生活での注意点
頭皮ケアについて

北海道医療センター がん相談支援センター

抗がん剤治療中の
日常生活での注意点
～頭皮ケアについて～

再生回数 6,369回

2022年9月末現在



facebook
@HMChokkaidoiryo



Instagram
HMChokkaidoiryo



twitter
@HMChokkaidoiryo



公式SNSは、北海道医療センター「ソーシャルメディアポリシー」に基づき運営しております。詳細はホームページをご覧ください。

まいにちから、
まんいちまで。

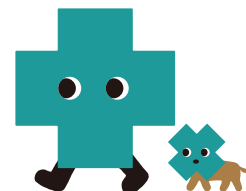


独立行政法人 国立病院機構

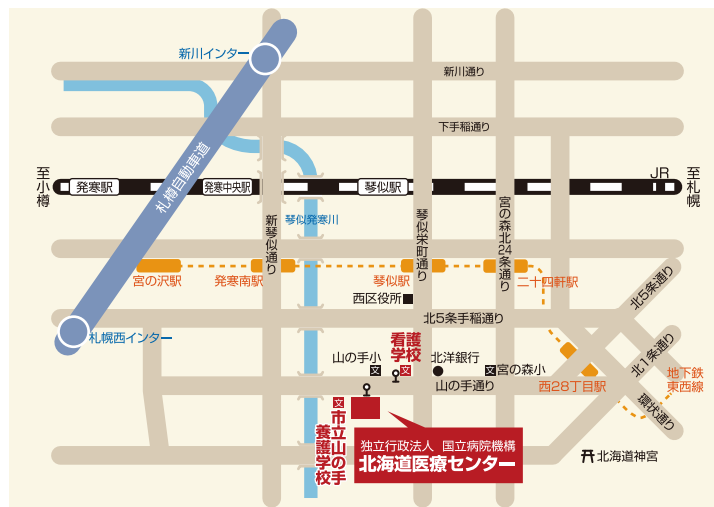
北海道医療センター



TEL 011-611-8111



〒063-0005 札幌市西区山の手5条7丁目1番1号



●交通のご案内

地下鉄東西線
西28丁目 ●●●● 循環西21 山の手線 北海道医療センター前 下車
西21 山の手線 北海道医療センター前 下車

地下鉄東西線
宮の沢駅 ●●●● JRバス 西21 山の手線 北海道医療センター前 下車

地下鉄東西線
琴似駅 ●●●● JRバス 琴43 西野中州橋線 北海道医療センター前 下車

JR
JR琴似駅 ●●●● ■タクシーご利用の場合
○JR琴似駅より.....約1,200円前後
○地下鉄琴似駅より.....約1,000円前後

車で ●●●● ■旭川・苫小牧方面より自動車ご利用の場合
札幌自動車道新川インターから新琴似通り経由、山の手通り沿い
■小樽・余市方面より自動車ご利用の場合
札幌自動車道札幌西インターから北5条手稲通り、新琴似通り経由、山の手通り沿い

<https://hokkaido-mc.hosp.go.jp>

北海道医療センター

検索



発行所/独立行政法人 国立病院機構 北海道医療センター
発行責任書/広報室長 柴崎 跡也
発行日 2022年10月

札幌市西区山の手5条7丁目1-1
電話 (011) 611-8111 / FAX (011) 611-5820
ホームページ <https://hokkaido-mc.hosp.go.jp>